長野県城絵図展実施報告書 2012年10月1日

主催 伊那異業種交流研究会

共催 伊那商工会議所

後援 伊那市、伊那市教育委員会

日時 2012年9月5日—19日

期間 15日間

場所 三洋グラビア株式会社

みまよせホール

展示内容 展示報告書に記載約160点 期間中来場者 約800名

しろはく 古地図と城の博物館 富原文庫 代表 富原道晴

1) 長野県の城絵図展来場者地域別一覧表

伊那市333 辰野町54 箕輪町49 駒ヶ根市41 飯田市40 南箕輪村34 諏訪市25 松本市24 松川町20長野市20高森町16宮田村13塩尻市12岡 谷市12上田市9下諏訪町6飯島町5木曾福島町4小諸市 5千曲市4中川村3上郷町2喬木村2茅野市2須坂市2長 和町2東御市2川上村・上松町・佐久穂町・阿南町・安曇野市・原村・豊丘村・木祖村・

以上長野県内来場者752名

東京都13埼玉県7神奈川県4岐阜県3群馬県2滋賀県2 愛知県3山梨県・岡山県・千葉県・広島県・三重県・

県外来場者39名

計788名

未記入者を含め約800名と推定

来場者の95%が県内、伊那市が42%に達し、南信がほとんであるが、遠く北信、東信からの来場者も5%、県外も5%来場いただいた。

2) 来場者日別一覧

5日29名·6日39名·7日65名·8日(土曜日)68 名·9日(日曜日)75名·10日23名·11日27名· 12日20名·13日56名·14日33名·15日(土曜 日)56名·16日(日曜日)68名·17日(祭日)18 日135名·19日34名

以上計728名

名刺受領来場日不明60名

計788名 15日間1日平均来場者52,3名土日67名 未記入者を含めて来場者約800名と推定

3)展示会紹介状况

新聞 2012年9月4日信濃毎日新聞 伊那支社 稲田守生記者

2012年9月6日長野日報1面 伊那支社報道部 斉藤康史記者

2012年9月12日中日新聞信州版

2012年9月13日信濃毎日新聞 いまこの人

伊那支社 稲田守生記者

2012年9月15日南信州新聞

みのわ新聞社武田知也記者が来場されています。。

テレビ局

2012年9月5日NHK12時、18時半 イブニング信州 DVD受領 長野放送局松本報道室記者 山口雅史記者

- 2012年9月5日—13日、伊那ケーブルテレビ 伊那ケーブルテレビジョン放送部長 報道・番組ディレクター 伊藤秀男記者 放送部放送課アナウンス主任 平山直子記者 DVD受領
- 2012年9月5日テレビ信州 テレビ信州報道部諏訪、上伊那担当 ニュース取材・カメラマン 山崎文好記者 DVD受領
- 2012年10月6日予定 伊那ケーブルテレビ 高遠城跡現地探訪記録が放映、収録10月2日

伊那ケーブルテレビジョン放送部長 報道・番組ディレクター 伊藤秀男記者 DVD受領予定

展示会紹介

月刊地図中心2012年9月号日本地図センター 展示会「長野県の城絵図」 裏表紙カラー 国土地理院の外郭団体 平井史生記者

GPJAPAN8月。9月号

長野県城絵図展、開催中

全国グラビア協同組合連合会機関紙

2012年8月4・5日中世城郭研究会 ポスター掲示紹介、高遠城絵図展示

ポスター、チラシは県内文化財関連機関、県外城郭博物 館に配布

ネット配信

全国郷土誌連合 長野日報9月5日 信毎ウェブ 9月4日 東海古城研究会城郭情報、9月5日記事配信 富岡むさし(城ブログ掲載9月5日来場7日配信)

4) 来場者(名刺受領分のみ)

伊那市教育委員会·生涯学習課·文化財係·創造館係· 高遠長谷教育振興課·文化財係·高遠町歴史博物館· 伊那市立伊那図書館·伊那市消防団·伊那商工会議 所·伊那市立高遠町図書館·郵便事業伊那支店· 諏訪市教育委員会生涯学習課課·文化財係·高島城· 諏訪市博物館·高森町歴史民俗資料館·飯田市歴史研 究所·飯田市教育員会·飯田市三穂公民館·蓑輪町郷 土博物館

高森町史学会・伊那史学会・阿智学会・上伊那郷土研究会・伊那部宿を考える会・高遠案内ふきのとうの会・飯島氏顕彰会・高森町古文書会・下市田史談会個人情報保護の関係で来場者の肩書、氏名は割愛しました。5)展示会場配布資料

1 初公開 「長野県の城絵図展」 展示資料報告書 2 城 「正保城絵図を超える規模で実施された日本最 大の幻の城郭調査」-明治5年城郭存廃調査の記録絵

- 図一 関西城郭研究会198号2012年1月
- 3 高遠城郭絵図手ぬぐい しろはく古地図と城の博 物館富原文庫
- 4 陸軍省城絵図高遠城郭之図検証作業 高遠城跡遺 構調査報告書 8月28日—30日
- 5 高遠城跡現状追加調査 9月14・15日 これらの資料は三洋グラビア様のご好意で来場者希望 者に無償配布されました。

以上、報道機関及び設営関係者ありがとうございました。